

米国科学審議会、研究データの共有・管理に関する提言書を発表（12月14日）

米国科学審議会（National Science Board : NSB）は、研究データの共有に関する報告書、「電子研究データの共有・管理（Digital Research Data Sharing and Management）」を発表した。本報告書には、国立科学財団（National Science Foundation : NSF）の資金提供を受けて行われた研究から得られたデータの利用可能性に関して 5 つの提言がまとめられており、助成受給者に対しては、査読雑誌においてデータや研究方法を公開するよう要請する内容が示されている。また本報告書には、NSF がこの提言内容を実施するにあたり、助成受給者によるデータ公開までのスケジュールを定めたデータ管理計画を施行する必要があることや、各科学コミュニティを奨励して、NSF のデータ方針に沿ったデータ共有・管理を行わせるよう求める内容も含まれている。

なお、本報告書は<<http://www.nsf.gov/nsb/publications/2011/nsb1124.pdf>>からダウンロード可能。

American Institute of Biological Sciences, *National Science Board Report Aims for Grantees to Make Data More Available*

[http://www.aibs.org/public-policy-reports/2012\\_01\\_03.html#031857](http://www.aibs.org/public-policy-reports/2012_01_03.html#031857)